

# 第4章

## 自己分析しながら 面接カードを作ろう

chapter

4

自己分析しながら面接カードを作ろう！

P.95

section

1

志望動機

P.97

section

2

挑戦したい仕事

P.104

section

3

自己PR

P.110

section

4

学生時代に力を入れて取り組んだこと

P.116

section

5

専攻分野・卒論等

P.122

section

6

趣味・特技

P.126

section

7

関心のあるニュース

P.132

section

8

長所・短所

P.137



せんせい

『第4章：自己分析しながら面接カードを作ろう』ということで、面接カードの主要項目ごとに、全体のポイント、面接カードの目標、良い印象を与えるコツ、文章構成(記入例)、自己分析用資料、最終チェックポイントを細かく紹介していきたいと思います！上手に自己分析して、一緒に良い面接カードを作っていきましょう！



## 面接カードの主要項目

- ①志望動機
- ②挑戦したい仕事
- ③自己PR
- ④ガクチカ
- ⑤専攻分野・卒論等
- ⑥趣味・特技
- ⑦関心のあるニュース
- ⑧長所・短所



せんせい

この章では『**面接カードの主要項目**』について、全体のポイントや自己分析用の資料、文章構成のコツ等を紹介していきます！  
きっと上手に自己分析できると思いますので、**面接官に良い印象が与えられるような面接カード**と一緒に作っていきましょう😊

- ※文章構成については、『志望動機を述べて下さい』等と問いが抽象的な場合を想定しています。
- ※問いの文章は受験先ごとに違うので、自分が受ける受験先の面接カードの問いに答えるようにして下さい。
- ※受験先ごとの面接カードの書き方、文章構成、記入例...等はブログで紹介しているので、↓こちらを見ていただくと嬉しいです。

面接カードの作り方や記入例について、国家一般職や国税、県庁、市役所...等と**受験先ごとにポイント**を紹介しています！

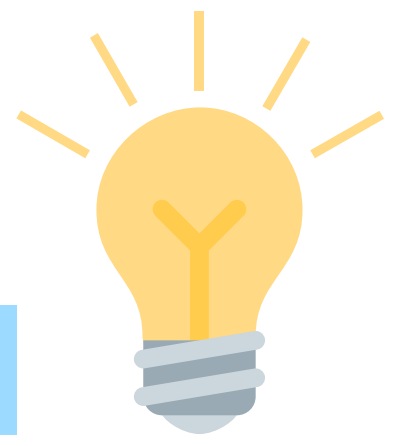
<https://senseikoumuin.com/menmatome/>



section

1

## 志望動機



1

## 志望動機のポイント

志望動機というのは、受験しようと思った『理由』のことです。要は『なぜ〇〇を志望したのか』を聞かれているわけですから、これに対する回答が用意できていればそれでOKということになります。

なるべく素直に回答するのがベストなのですが、『安定を求めて～』『ホワイトな職場で働きたくて～』等といった印象が悪い動機は基本的にはNGです！

2

## 志望動機で面接官に与えたい印象

面接カードの『志望動機』の枠を通して、面接官に伝えたいポイントというのは、以下のような点が挙げられると思います！



## 志望動機の目標

- ・ 面接官を納得させたい
- ・ 仕事内容や役割を理解しているという安心感を与えたい
- ・ 今後も活躍・貢献してくれそうだと感じてもらいたい
- ・ その他とにかくいい印象を与えたい



せんせい

この4つが満たせている志望動機が作れているなら万々歳ですよ！  
そこで、次はいい印象を与えるためのコツについて紹介していきたいと思います！

最大のポイントは『**実体験(きっかけ)**』から『**素直な自分の意見・感想**』を述べることです。

志望動機というのは十人十色で、皆違うわけですから、自分が過去にどんな体験をして、どうして公務員になりたいと思ったのかを明確に伝える必要があると思います。

そこで、説明会やインターンシップなど、『**仕事内容や役割を勉強するために実際に行動したこと**』を話のネタとして公務員のどこに魅力を感じて、自分がどのように活躍していきたいと思ったのか、どのような未来を実現させたいと思ったのか...等を述べることで、面接官へ与える印象がものすごく良くなります！



せんせい

皆さんは『~こういう出来事を通して、受験先の~こういうところが魅力的だと思ったから志望した』と素直に伝えればOKです！



ネコ君

なるほど！

**実体験をベースに素直に理由を述べるのが一番**ってことか。文章構成も思っている以上にシンプルでOKということだな！



せんせい

そうだね！変にカッコつける必要はないよ！ただ、志望動機はまず仕事内容や役割をきちんと把握していないと『ミスマッチ』を引き起こしてしまう可能性があるから、**自治体・省庁研究**を思いっきりやってから、志望動機を考えていくようにしよう！



ネコ君

そりゃ市役所の面接で県庁の仕事内容の魅力伝えたら笑いもんだもんな(笑) 気を付けるよ！

## 4 志望動機の記事構成

### 【志望動機(例①)】

#### ●きっかけ+自分の理想

⇒高校〇年生の時の〇〇地震で私の家が被災し、多くの人に助けられた経験があります。この出来事がきっかけで、私も将来は地域のために働ける仕事がしたいと思っていました。

#### ●実体験(行動)+仕事の魅力

⇒そこで、大学〇年生の時に〇〇市が開催する『防災セミナー』に参加したところ、〇〇市の職員として市民の生活を支えていける点に非常に魅力を感じました。

#### ●今後の意気込み・貢献

⇒大学で学んだ『環境防災』の知識を活かし、〇〇市民が安心して暮らせるまちづくりに貢献していきたいと思い、志望しました。

### 【志望動機(例②)】

#### ●抽象的な結論

⇒私が〇〇を志望した理由は主に〇つあります。

#### ●抽象的な理由(1)

⇒まず1つ目は、〇〇の職員として、地域のために一生懸命活躍したいと思ったからです。

#### ●具体的な理由(実体験+感想)

⇒インターンシップに参加し、〇〇等の課題解決に貢献できる仕事内容に非常に魅力を感じました。私の強みである〇〇を活かして、〇〇に貢献していきたいと思っています。

#### ●抽象的な理由(2)

⇒2つ目は、地元である〇〇市のために働きたいと思ったからです。

#### ●具体的な理由(実体験+感想)

⇒この町で〇年間暮らしてきたことで、魅力や課題、市民の声等には詳しいと思います。地域事情の知識も今後、職員の仕事に活かしていければと思っています。

個人的にオススメだと思う文章構成はこの2つです。  
特に例①のように『**きっかけ(実体験)⇒仕事の魅力⇒今後の意気込み**』と過去の出来事から未来への想いにつながるような流れがオススメです！



きっかけ部分は大きく『**仕事を知ったきっかけ**』と『**受験先の職員になろうと思ったきっかけ**』があります。  
この2つを使い分けて、説得力のある志望動機を作っていきましょう！



きっかけが何も無いと言うのであれば、今から何か行動を起こすしかないぞ。  
受験先のHPをチェックするのも、パンフレットを読み込むのも大事な行動の1つじゃ。ほっほ。



俺もまだまだ自治体・省庁研究不足だから仕事の勉強頑張るぜ！  
できるだけ行動に移していくつもり！



その調子で頑張るんじゃぞ！  
本当に内容で変に論破する必要は全くないから、**なるべく素直な動機**を述べるように心がけてみるんじゃな。ほっほ。



では、これから皆さんに『**自己分析用の資料**』を紹介していきます！  
実際の頻出質問をもとに作った問いの文章があるので、皆さんは自分なりの回答を用意してみてください！